



心豊かに育ちあう

# 沢の子

令和8年度 重点目標

“いつでも考え学び合う、  
笑顔あふれる”  
子どもの育成

余市町立沢町小学校 令和8年7月24日(金) 第4号

## 「豊かな体験を力に、実りある夏休みへ」

校長 葛西 統実

サクランボの収穫期を迎え、校庭の緑がいつそう深まる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

早いもので、4月の始業式・入学式から始まった1学期も、本日で終業式を迎えます。この数ヶ月間、子どもたちは日々の授業はもちろん、運動会や遠足などの行事、日々の委員会活動や縦割り班活動を通して、心も体も大きく成長しました。

今月初旬に行われた6年生の修学旅行では、お互いに声を掛け合い、協力して行動する沢町小の子どもたちの素晴らしい姿が見られました。一人ひとりが「自分で考え、行動する」力を少しずつ身につけていることを、大変嬉しく、頼もしく感じています。また、旅先で出会った人たちと親交を深めたり、見学で実物に触れたり等、修学旅行ならではの体験的な学習活動に取り組むことができました。

さて、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。この長期休業を迎えるにあたり、私が子どもたちにぜひ意識してほしいと思っているのが「体験の大切さ」です。

現代は、インターネットやタブレット端末を使えば、居ながらにして世界中の情報や美しい映像を手に入られる便利な時代です。しかし、どれだけ精細な映像を見ても、「本物に触れたときの驚きや感動」に勝るものはありません。

- 自分の目で見て、その大きさに圧倒されること
- 自分の手で触れて、その感触や温かさを知ること
- 自然の中で、風の匂いや波の音を感じる

こうした五感を使ったリアルな体験こそが、子どもたちの感性を豊かにし、「どうしてだろう?」「もっと知りたい!」という主体的な学びの芽(知的好奇心)を育てます。

余市町には、豊かな海や山、歴史ある施設など、素晴らしい体験のフィールドがたくさんあります。特別な旅行でなくてもかまいません。虫捕りをする、家族と一緒に料理を作る、地域の行事に参加する、そんな日常の小さな体験の一つひとつが、子どもたちにとってはかけがえのない「学び」であり「宝物」になります。

時には思い通りにいかないことや、失敗することもあるかもしれません。しかし、「自分でやってみた」という事実と、そこから得た気づきは、教科書だけでは学べない生きる力へとつながっていきます。

このように、夏休みは、余市の豊かな自然に触れ、学校生活だけでは得られない多様な体験に挑戦できる絶好の機会です。ご家庭におかれましても、この夏をぜひ、お子様が「一歩踏み出して何かを体験するチャンス」として捉え、子どもたちが「自分で決めた目標」に向かって挑戦する姿を温かく見守り、応援していただければ幸いです。

夏休み中も、健康と安全(特に交通事故や水の事故の防止)には十分に気をつけてお過ごしください。8月に、また一回り大きく、たくましくなった子どもたちの笑顔に出会えることを教職員一同、楽しみにしております。

1学期間、温かいご支援をいただき本当にありがとうございました。